



令和 7 年（2025 年）4 月 3 日 公表
令和 6 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

キダイ（日本海・東シナ海系群）

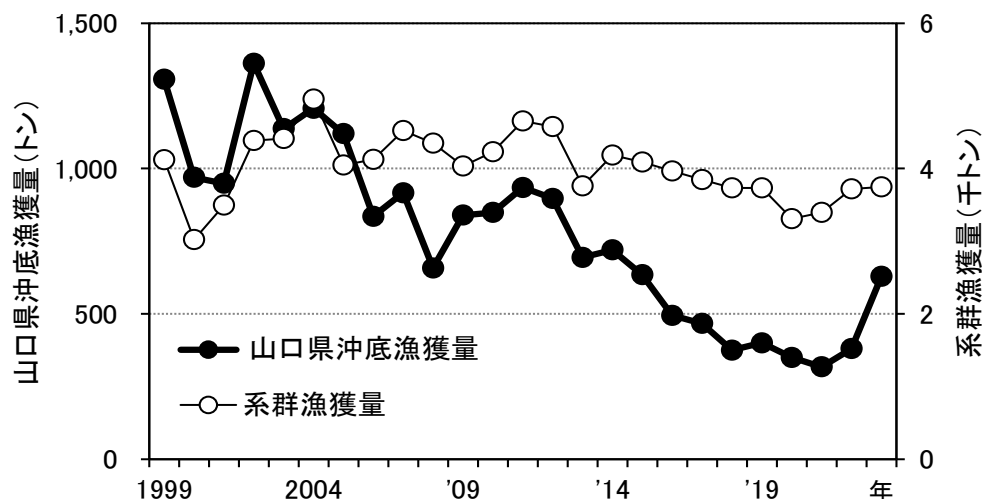


図 山口県沖合底びき網漁業によるキダイ漁獲量（下関漁港水揚量）及び日本海・東シナ海系群キダイ漁獲量（(国研) 水産研究・教育機構 資源評価報告書)の推移

【漁業】キダイは主に沖合底びき網により漁獲される。沿岸域では主に小型底びき網や延縄で漁獲される。主な漁獲サイズは尾叉長 12～17cm（豆芝）である。

【漁獲量】山口県沖合底びき網漁業の漁獲量は、2002 年に 1,362 トンと最高値を記録した。その後は顕著な減少傾向にあったが、2022 年以降やや増加し、2023 年の漁獲量は 629 トンであった。

系群の漁獲量は、1960 年に 1 万トンを超えていたが、2013 年以降は 4 千トン前後で推移している。

【資源状態】資源状態は、東シナ海では 1993 年以降の 2 そうびき以西底びき網漁業とトロール調査のデータから計算した標準化 CPUE から中位、日本海では 1993 年以降の島根県浜田以西の 2 そうびき沖合底びき網漁業のデータから計算した標準化 CPUE により高位と判断されたが、系群の主体は東シナ海にあることから、系群全体の資源水準は中位、動向は増加と判断された。

資源の水準・動向		2023 年漁獲量	2025 年 ABCtarget	2025 年 ABClimit
水準	動向	(百トン)	(百トン)	(百トン)
中位	増加	37	35	44